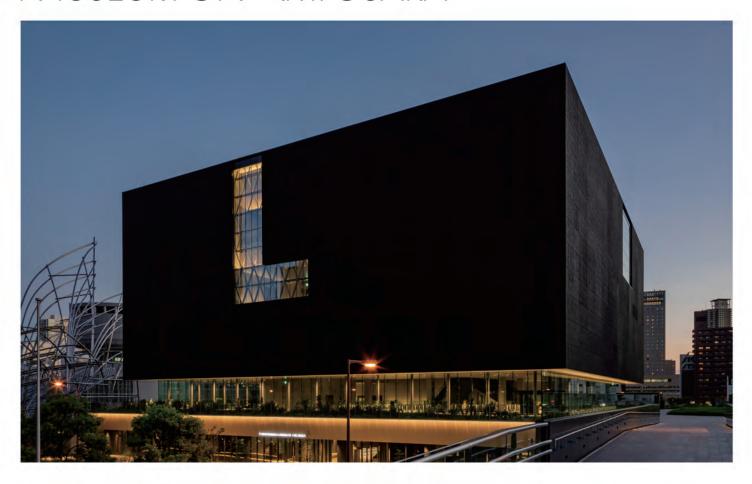
Annual Report 2021

MUSEUM OF ART, OSAKA



2021年度 大阪中之島美術館 アニュアルレポート

「目次」

- I 大阪中之島美術館のビジョン
- II 大阪中之島美術館の活動方針
- Ⅲ 事業報告
- IV 美術館の運営方法
- V 予算・決算
- VI 運営会社概要
- Ⅶ 施設概要
- VIII 大阪中之島美術館の沿革

I 大阪中之島美術館のビジョン

2022年2月2日、大阪の中核であり、水都のシンボルである中之島にいよいよ新しい美術館が誕生しました。1990年に準備室が設置されてから30年もの年月が過ぎ、めざすべき美術館像は時代の流れの中で変わっていきました。21世紀に誕生した大阪の美術館として担う役割を以下のように考えています。

1 歴史をつなぎ、未来を創造する

美術館の基本を「いま」に結び、「これまでにない」をめざすこと

19世紀後半から現代までの美術とデザインを専門とし、収集・保存、調査・研究、展示・公開・普及という美術館の本格的機能を果たすと共に、既存の枠にとらわれない大阪の進取の精神にならい、新しい創造活動を発掘し、支えます。

2 情報や知識、発見や感動の循環をうながす

美術館の扉を開くだけに留まらない。さらに先へ、進みひらいていくこと

誰でも気軽に立ち寄ることができる「パッサージュ(遊歩空間)」を中心に、魅力的な「場」として、知識や経験が交わる「機会」を生み出す美術館として、情報・人的資源の芽を育み、社会へと送り出し、その循環と活用を促進します。

3 つながりを原動力とする

「足りないこと」を可能性としてとらえ、手をとり合う相手を探すこと

多様な第三者との連携によって機能や事業の発展を図る「協働する美術館」、市民と共に学び合う「共育する美術館」として、 大阪・中之島をはじめ、さまざまなコミュニティの一員として社会と共に変化し続けます。

4 大阪に貢献する

大阪の「これまで」を活かし、世界に「これから」を発信し、中之島にて、ひと・こと・ ものが、歩みを共にすること

大阪の歴史が培ってきた文化的土壌に根を下ろし地域文化を育み、中之島の芸術文化ゾーンの中心的かつ大阪の新しいシンボルとなる美術館として、大阪から全国へ、また世界に向けて、人々の心を動かす創造力を発信します。

Ⅱ 大阪中之島美術館の活動方針

企画展

近代から現代に至る美術・デザインなどの造形文化を中心に、国内外のさまざまな分野の優れた作品や動向に注目した展覧会を開催します。作品の魅力を最大限に生かし、驚きや感動の場一心が揺すぶられ、わくわくする体験の場をつくります。これまでにない当館独自の視点によって、作品や作家、美術の流れやそれらを取り巻く状況を捉え、新しい意味や意義を開拓する企画や、今まさに展開する美術制作を現在進行形で追う試みなどを展開します。大阪から世界へ一大阪中之島美術館は、アートの新しい価値を発信し、問い掛けていきます。

コレクション展

大阪中之島美術館が誇る約 6000 点(2022 年 3 月現在)のコレクションを、多彩なテーマによって紹介します。コレクション展は、美術館の"顔"であるアメデオ・モディリアーニや佐伯祐三の作品に出合える場所であり、コレクションの広がりと深みに触れる機会となります。世界的に高く評価される戦後の大阪の美術グループ「具体美術協会」と、このグループを先導した吉原治良の作品も、コレクションの重点の一つであり、その魅力を積極的に発信します。新収蔵作品や、充実した研究活動による新知見の発表など、絶えず内容の刷新につとめ、訪れるたびに新たな発見や気付きのある、変化し続けるコレクション展をめざします。

ラーニング|リサーチ

大阪中之島美術館は、「学び合い」を活動の重要な軸とし、多様な背景や目的を持つ人びとと「共に」経験をつくり、積み上げていきます。企業や大学など外部組織との連携も、当館の活動の大きな機動力であり、「インダストリアルデザイン・アーカイブズ研究プロジェクト(IDAP)」や「クリエイティブアイランド中之島」などの協働プロジェクトを開館前より進めています。現存作家やアート関係者への「オーラルヒストリー(口述の歴史)」の聴取・公開も、重要な研究活動の一つです。当館が集積する「具体美術協会」をはじめとする資料群は、アーカイブズ情報室で広く公開され、学び合いに寄与します。

大阪中之島美術館はアーカイブズの構築と運営を美術館の主要事業の一つとして位置付けています。2022年4月にアーカイブズ情報室の運営を開始し調査や閲覧に対応し、貴重な資料群の公開と活用を行っています。その柱の一つが具体美術協会に関するアーカイブです。「具体」の調査研究センターとしての機能を果たすとともに、作品と資料が同じ施設にあることを生かし、資料と作品との相乗的な展示を図ってまいります。また、広告史に関する萬年社の貴重な資料群や、会員制広告研究誌『プレスアルト』、大阪中之島美術館の整備や活動に関する資料群なども、アーカイブズとして整備していく予定です。

Ⅲ 年次報告書

1. 企業の概況

当社は2020年4月1日に設立、準備期間を経て2021年7月1日に建物の引渡しを受け、インフラ整備等を行ったうえで、7月19日より現地での業務を開始しました。

2022年2月2日に無事開館、オープニング展である「超コレクション展」は当初の予想を大幅に上回り、大盛況のうちに展覧会が終了しました。現在は 4/9 より「モディリアーニ展」(5 階)、「みんなのまち 大阪の肖像展(第 1 期)」(4 階)を開催中です。2022年3月31日現在

2. 事業の状況

■2021 年 4~6 月

建物引渡し前で事務系スタッフ(朝日ビルディング)と館長以下学芸員が別々のオフィスで 執務をしていたため、予算、管理、広報、イベント、IPM、移転等の各種分科会を開催し、開館 準備を進めていました。

■2021年7月

7/1 建物引渡し

7/19より現地で業務開始

■2021 年 8 月

駐車場の運営開始 (委託先:関電ファシリティーズ)

画像貸出業務開始(委託先: DNP アートコミュニケーションズ)

■2021年9月

9/17 看視員業務委託先決定 (株式会社フィールズ)

■2021年10月

PM クリーニング実施(10/1~20)

燻蒸投薬 (10/18~29)

交通広告 10月より積極展開【大阪市博物館機構】

JR 西日本 社内ビジョン (10/25~31)

大阪メトロ 社内ビジョン (12/6~1/2)

JR 東日本 駅ホーム上ベンチ (12/15~1/5)

JR 西日本大阪ランドマークスクエア 駅柱ジャック (1/24~30) 他

■2021年11月

アルバイト5名採用(事業課1名、学芸課2名、アーカイブ2名)

■2021年12月

当館独自のチケット販売システム運用開始 美術館の会員制度運用開始

■2022年1月

各種看板・ポスター等掲出

肥後橋地下通路(開館告知ビジュアル)11/1~

中之島通りバナー 1/9~3/31

京阪渡辺橋駅改札口ポスター 1/11~

同上 看板 (電飾) 1/18~

開館に伴う内覧会実施 1/28~

■2022 年 2 月

開館式典実施 2/1

開館 2/2 (オープニング展「超コレクション展」開始)

■2022年3月

オープニング展「超コレクション展」(2/2~3/21) 無事終了 総入場者数:126,310 人



開館式典 テープカット



左:超コレクション展 ポスタービジュアル 下:5階展示室入口





超コレクション展 展示風景



超コレクション展 展示風景



超コレクション展 展示風景



超コレクション展 展示風景

IV 予算・決算

「予算」

損益計算書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31 (単位:円)

		(十12:13)
科目	金額	
売上高	364,612,000	
売上原価	86,555,000	
販売費及び一般管理費	347,684,000	
営業利益		-69,627,000
営業外収益	50,000,000	
営業外費用	880,000	
経常利益		-20,507,000

「決算」

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
【流動資産】	324,688,850	【流動負債】	235,126,549
		【固定負債】	231,047,240
【固定資産】	177,827,978	負債合計	466,173,789
		純資産の部	
		【株主資本】	36,343,039
		純資産合計	36,343,039
資産合計	502,516,828	負債・純資産合計	502,516,828

損益計算書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31 (単位:円)

科目	金額	
売上高	299,280,580	
売上原価	23,784,432	
販売費及び一般管理費	273,199,721	
営業利益		2,296,427
営業外収益	7,934,317	
営業外費用	696,436	
経常利益		9,534,308
税引前当期純利益		9,534,308
法人税、住民税及び事業税		5,753,727
法人税等調整額		△ 2,505,672
当期純利益		6,286,253

V 美術館の運営方法

大阪中之島美術館は、「民間の知恵を最大限活用しながら、顧客目線を重視し利用者サービスに優れたミュージアム」というコンセプトを掲げるとともに、大阪全体の都市魅力の発展・進化・発信のための重点取組にも位置付けられるなど、これまでにない新たな魅力を持った施設をめざしています。

このように、大阪の都市魅力を世界に発信する施設として、また、中之島のまちづくりに貢献する施設として、高い話題性と集客力が求められることから、新たな手法として、民間事業者が経営に直接携わることで創意工夫が最大限発揮される、PFI法(※1、※2)における公共施設等運営事業「コンセッション方式」を日本の美術館として初めて導入しました。これにより、今後、「効果的な情報発信や話題性のあるイベントの開催などによる集客力の強化」「魅力的なサービス施設の誘致などによる付加価値の向上」「官民連携によるエリアプロモーションの展開」などさまざまな効果を発揮してまいります。

PFI を担う事業者につきましては、2019(令和元)年度に地方独立行政法人大阪市博物館機構が 実施した募集手続きにおいて、株式会社朝日ビルディングが優先交渉権者に選定され、翌年度 4 月1日付にて同社が設立した特別目的会社「株式会社大阪中之島ミュージアム」と公共施設等運 営権実施契約を締結しました。

以上の経緯のもと、大阪中之島美術館は株式会社大阪中之島ミュージアムが運営しています。 また、館長 及び 学芸員 は 地方独立行政法人大阪市博物館機構から、この 大阪中之島ミュー ジアムに出向し、専門学芸員と民間のノウハウが融合することによる今日的な美術館モデルを模 索しています。

- ※1 PFI: Private Finance Initiative の略で、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する ことにより、効率的で質の高い公共サービスの提供を図るもの
- ※2 PFI 法:民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律

VI 運営会社概要

商 号 株式会社 大阪中之島ミュージアム Osaka Nakanoshima Museum Co., Ltd.

法人番号 1120001228271

所 在 地 〒5300005 大阪市北区中之島 4 丁目 3 番 1

設立日 2020年4月1日

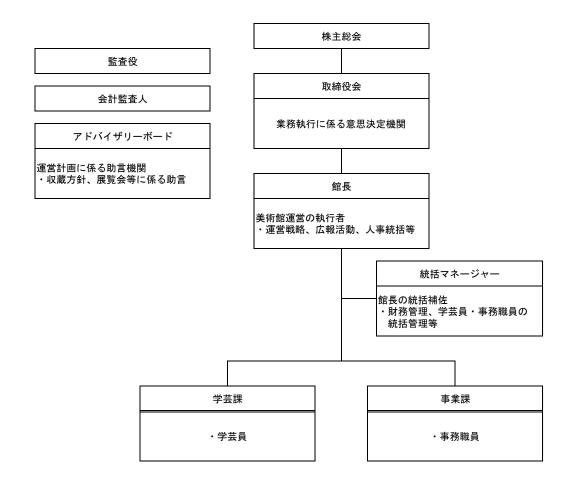
資本金 1500万円

代表者 代表取締役 曽根 宏司

営業種目 (1) 大阪中之島美術館の運営事業、不動産の管理

(2) 前号に付帯関連する一切の業務

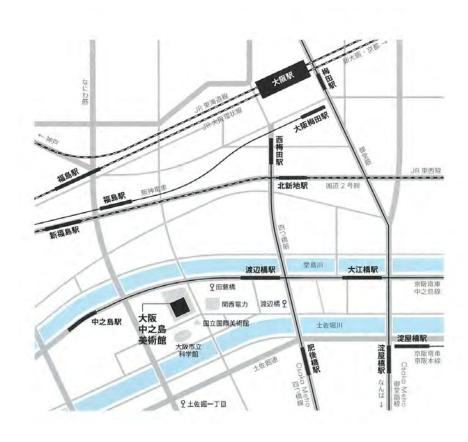
組織図



職員名簿 2022年3月31日現在 19名

Ⅶ 施設概要

所 在 地 **〒**530-0005 大阪市北区中之島 4-3-1 **②**06-6479-0550 (代表) 案 内 図



構造・規模 鉄骨造、基礎免震、地上5階建 延床面積 17305 ㎡ (駐車場・駐輪場除く)

各床面積

1階 ホール 411 m² ワークショップルーム 134 m²

サービス施設(店舗) 712 ㎡ レストラン、カフェなど

2 階 アーカイブズ情報室 70 ㎡

親子休憩室 81 ㎡

サービス施設 (店舗) 221 ㎡ ミュージアムショップなど

4階 展示室 1 682 ㎡ 天井高 4m/壁付展示ケース設置/可動間仕切設置

展示室 2 733 ㎡ 天井高 4m/可動間仕切設置

5 階 展示室 3 591 ㎡ 天井高 6m/可動間仕切設置

展示室 4 733 ㎡ 同上

展示室 5 409 ㎡ 同上

VIII 大阪中之島美術館の沿革

- 1983年 8月 大阪市制 100 周年記念事業基本構想の一つに近代美術館の建設が盛り込まれた
- 1988年11月 近代美術館構想委員会発足
- 1989年 4月 大阪市美術品等取得基金設置(基金額30億円)
- 1989年12月 近代美術館構想委員会(近代美術館構想に関する答申)
- 1990年11月 近代美術館建設準備室設置
- 1991年11月 近代美術館基本計画委員会発足
- 1996年 5月 大阪大学医学部跡地の埋蔵文化財調査を実施し、 船入遺構の石垣の列等を確認
- 1998年 3月 近代美術館基本計画委員会より、「近代美術館基本計画」の答申を受ける
- 1998年10月 近代美術館建設用地として、 大阪大学医学部跡地のうち、南半分8000㎡を購入
- 2001年 2月 大阪大学医学部跡地船入遺構の現地説明会を実施
- 2002年 3月 埋蔵文化財現地調査終了
- 2003年 2月 北半分8035.22 ㎡を国から購入
- 2004 年 10 月 「心斎橋展示室」開設
- 2012年11月 「心斎橋展示室」閉室
- 2013年 2月 中之島に新しい美術館を整備することを、戦略会議で決定
- 2013 年 6月 市立美術館と新美術館の「建物の統合」は行わず、 東洋陶磁美術館を含めた 3 館について 「経営統合」をめざすことを戦略会議で決定
- 2014 年 4月 戦略会議において「新美術館整備方針(案)」の内容を 確認し、2020 年度まで の開館をめざすことを決定
- 2014年 9月 「新美術館整備方針」を策定
- 2016年 3月 施設整備は公共で実施し、 運営に PFI 手法を導入する方針を決定
- 2017年 2月 公募型設計競技(設計コンペ)により設計者を選定
- 2017年 9月 基本設計業務完了
- 2018年10月 美術館の名称が公募により「大阪中之島美術館」に決定
- 2018年11月 大阪新美術館建設準備室を 大阪中之島美術館準備室に改称
- 2019年2月建設工事着手
- 2019年 3月 公募型プロポーザルにより VI デザイナーを選定
- 2019年 4月 地方独立行政法人大阪市博物館機構設立
- 2019 年 6月 大阪中之島美術館の運営における PFI 事業の実施方針の公表 特定事業の選定 及び募集要項等の公表
- 2020 年 2月 PFI 事業の優先交渉権者の公表
- 2020年 4月 株式会社大阪中之島ミュージアムと 公共施設等運営権実施契約を締結
- 2021年 7月 建物引渡し 現地にて業務開始
- 2022 年 2月 開館 オープニング展「超コレクション展」開催 (2/2~3/21)



大阪中之島 美術館 NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA